

## 第3章 まちづくりの将来目標の設定

### 1. まちづくりの基本理念

本計画におけるまちづくりの基本理念は、第6次山ノ内町総合計画に掲げる将来像「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土<sup>まち</sup>」との整合を図るとともに、都市整備の現状と課題を整理した結果を踏まえ、次のように設定します。

**都市と自然、市街地と農村、生活と観光が共生した  
環境を次世代につなぎ、夢と希望があふれるまち**

山ノ内町は、恵まれた豊かな大自然の恩恵を受けながら、「都市環境と自然環境」、「市街地と農村集落」、「住民生活と観光振興」がともに共生しながら発展してきました。

これら3つが共生した類まれな環境は、先人たちが守り、育て、伝えてきたかけがえのない財産であり、これを次世代に引き継いでいくことにより、持続可能なまちづくりを推進します。

そして、町民・事業者・行政が協働しながら、町内に暮らす人々や町を訪れる人々で賑わうまちを創出するとともに、誰もが住み慣れた土地で快適に暮らし続けることができ、未来への夢と希望であふれるまちづくりを推進します。

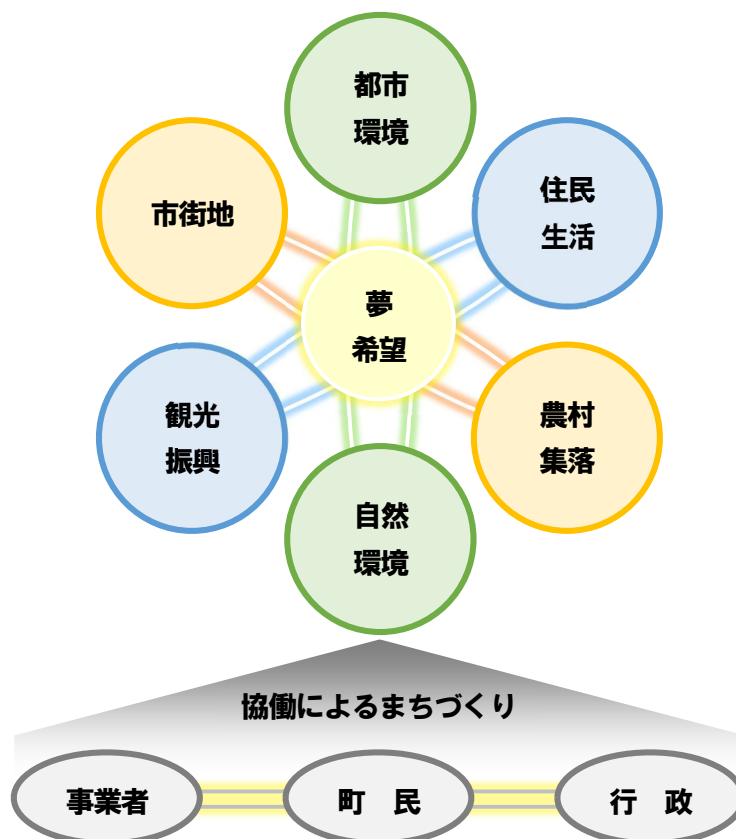


図. まちづくりの基本理念の概念

## 第3章 まちづくりの将来目標の設定

### 2. まちづくりの基本目標

まちづくりの基本理念を受けて、まちづくりの基本目標を次のように設定します。

#### 【目標1】 都市環境と自然環境が共生したまち

本町は、志賀高原ユネスコエコパークに登録された上信越高原国立公園に属する志賀高原や高社山などの山々と夜間瀬川・角間川・横湯川などの河川からなる豊かな自然環境を有しています。

これら自然環境は本町の貴重な財産として積極的に保全・形成していくとともに、無秩序な開発によるスプロール化を抑制しながら、自然環境と共生した環境負荷が少ない都市環境の形成を図ります。

また、頻発する地震、風水害・土砂災害、雪害などの自然災害に備えた防災・減災対策や公共施設・インフラの適切な更新や維持管理、空き家対策などにより持続可能な都市環境の形成を図ります。

#### 【目標2】 市街地と農村集落が共生したまち

本町では、将来的な人口減少や少子高齢化社会の進行に対応するため、湯田中渋温泉郷を核とする市街地を中心とし、都市機能の集約化などによる持続可能なまちづくりを推進します。

一方、誰もが住み慣れた土地で快適に暮らすため、農村集落における生活拠点を維持・形成するとともに、市街地と農村集落などを連絡する道路整備や公共交通ネットワークの充実を図ります。

また、本町特有の湯田中渋温泉郷を核とする市街地景観、扇状地状の緩やかな傾斜地に分布した農業・集落景観を保全・活用していきます。

#### 【目標3】 住民生活と観光振興が共生したまち

本町は、恵まれた自然環境・景観を活かし、志賀高原、湯田中渋温泉郷、北志賀高原の3つの観光地（観光）や、観光客などにも人気がある果樹、菌茸、水稻などを中心とした農産物（農業）を有しています。

本町にとって観光と農業は、町民の生活・経済活動を支える基幹産業であり、今後も農業の競争力を高めるとともに、リゾート空間の魅力向上に寄与する取り組みを推進しながら、町内外の交流を促進します。

一方、本町に暮らす住民の生活利便性や安全性を確保するとともに、若者などの流出を抑制するため、若者などの定住・移住を促す快適で魅力的な住環境の形成、雇用の場の創出など生活空間の整備を推進します。

### 3. 将来人口フレーム

「第2期 山ノ内町人口ビジョン」(令和3年3月)によれば、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を用いた推計結果では、本町の令和27年(2045年)における将来人口は6,756人※1となっています。

一方、「第2期山ノ内町人口ビジョン」における人口の将来展望では、移住定住施策のさらなる加速や、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に取り組むことなどが望ましく、「第6次山ノ内町総合戦略前期基本計画」(イノベーション戦略プラン2.0)及び「第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における具体的な方針・施策を展開することにより、令和17年(2035年)の人口は9,812人、令和27年(2045年)の人口は8,635人を目指すこととしています。

このことから、本計画では、「第2期 山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに基づく様々な方針・施策を講じることにより、「第2期山ノ内町人口ビジョン」に掲げる目標値が達成されることを想定し、本計画の目標年次である令和25年(2043年)の将来人口を約8,900人※2と設定します。

※1：国立社会保障・人口問題研究所が公表している山ノ内町の人口推計は2015年(平成27年)の総人口を国勢調査の値を用いているため、住民基本台帳の実績値を用いるここでの推計結果とは多少異なっています。

※2：本計画の目標年次である令和25年(2043年)の値は、「第2期山ノ内町人口ビジョン」の人口の将来展望をもとに按分しています。

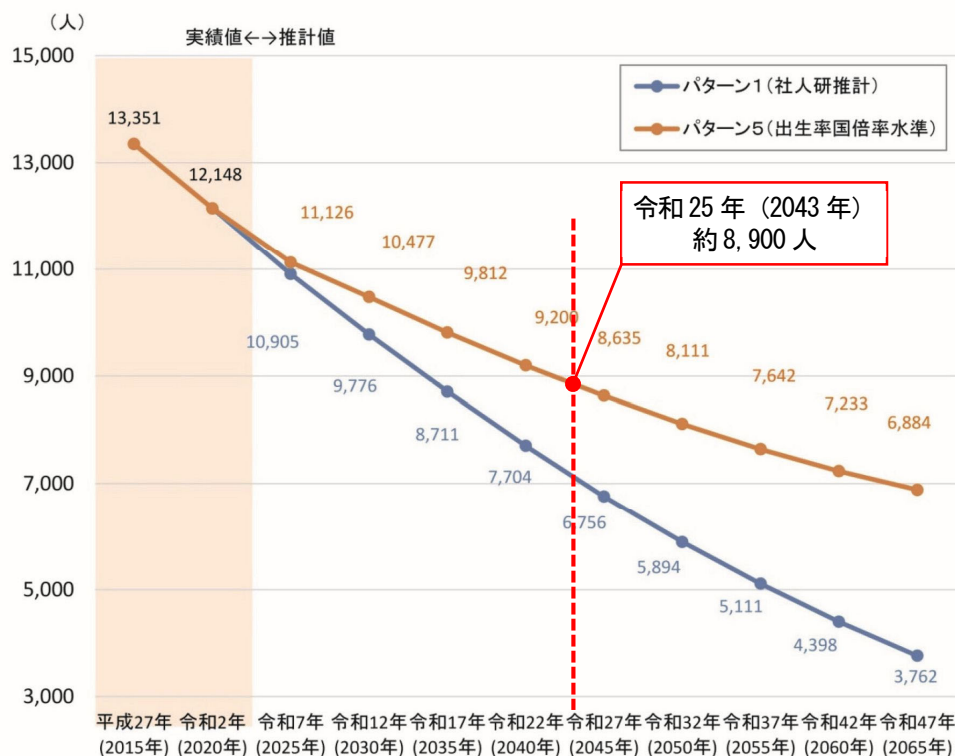


図. 人口の将来展望

資料：第2期 山ノ内町人口ビジョン (令和3年3月)